

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	子どもサバイバルキャンプ実行委員会
活動テーマ	「かんまきサバイバルラボ」(奈良県上牧町の地域自主防災の取り組み) ・地域の子どもたちに防災の基礎知識を教え、自主防災活動の担い手の育成を図る。 ・子どもとともに家族で防災を学び、大人たちも防災意識の高揚と地域内の連携を図る。

【テント設営】



【煙中体験】



【AED訓練】



【コンテナ倉庫】



＜活動の社会的意義＞

- ・2005年に地域の一自治会ではじめた「子どもサバイバルキャンプ」の取り組みが、2017年には町内の全小学校(3校)の児童に防災教育訓練を行い、子どもたちに防災の基礎知識を体験的に取得させる。
- ・子どもたちの保護者や実行員の大人たちも防災教育訓練を通じて、防災意識の高揚とお互いの連携を図る。

＜活動の実施方法＞

- ・町指定の一時避難場所(桜ヶ丘東公園グラウンド)と隣接する町指定の緊急避難場所(桜ヶ丘公民館)で、小学生と保護者を対象に8月17日から18日の一泊二日の野営キャンプにより防災教育訓練を行った。
- ・主な教育訓練の内容は、避難テントの設営・撤収、かまどベンチでの夕・朝食づくり、ロープや担架を使った救出訓練、AED救命訓練、煙中体験、消火訓練、DVDによる地震教育などを実施した。

＜活動の成果＞

- ・地域の小学生62人と保護者等5人、ボーイスカウト隊員、社会福祉協議会大学研修生、日赤奉仕団、町消防団、実行委員会メンバーを含めて総勢126人が今年度のサバイバルキャンプに参加した。
- ・財団の助成金で購入したJRコンテナを防災倉庫として桜ヶ丘東公園グラウンドに設置し、これまで町内各所に分散保管していた防災資機材を集約保管し、今後の防災訓練や災害時への対応が改善された。